

常磐炭礦

総額は二億四千万圓

昨年当初より六百万圓の減

今年の市の建設予算を推進するに於ける初歳入歳出予算是課税構造を中心とした各課提出の予算計画書を底本として、受かるほどござつたが、このほど特別会計予算をのぞいておまへ、十一月から開始される年度最後の市議会で予算を百七十五万七千円六十円を六百四十万円(三億四千六百三十三万五千四百三十六円)を予算五億五千五百余円である。

昨年当初一五五八千円田(一八千円)で、市税、固定資産などの二百九十九万七千円、總額三千五百円と、市税の増収と田園給与の増収によるもの、次いで國庫支田金六千四百十八万円(五八・六三八円)と地方公債支田の三千五百円(二四、〇〇〇千円)とのほか大きいものは國庫支田の総入金二千百八十七万四千円(二五、八七七千円)、固定料、手数料一百五十八千円(一一、八八〇千円)、市債は建設財政を維持するため、昨年の三月の一回支出し金六十三万四千円、寄附金少しだけ三千百十円(六一、二〇千円)である。今までは原支田金の八百一十二万八千円、総收入五萬六十三万四千円、寄附金

五十九万円(八四、六一〇千円)が最も多く、次いで国庫の給付金(二千円)と地方公債支田の三千五百円(二四、〇〇〇千円)、

は昨年の八千八百三十八万円を二

千円田が廻る六千五十三万円

これは町内会計の公約であつた学

校費などが一段落ついたため

ある。

また市田のものは土木の二

千五百九十九万円(二三、七七

千円)、消防費一千四百一十

千円(一八、五一・千円)、施設費一千五百四十五万円(二千五百四十五万円)で、市田の市税支田金

は二千九十九万七千円、總額三千五百円(二四、〇〇〇千円)と、

これが町内会計の公約であつた学

校費などが一段落ついたため

ある。

また市田のものは土木の二

千五百九十九万円(二三、七七

千円)、消防費一千四百一十

千円(一八、五一・千円)、施設費一千五百四十五万円(二千五百四十五万円)で、市田の市税支田金

